

決算補足説明資料

2014年度(2015年3月期)第3四半期 決算概要

2015年2月3日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp>
(営業情報 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp>)

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。
実際の業績等は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

2014年度第3四半期決算 連結損益比較表(サマリー)

(単位：百万円)

科目	2014年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	比較増減	増減率	備考
営業収益	522,501	510,626	+11,874	+2.3%	次ページ参照
営業利益	83,920	82,296	+1,624	+2.0%	
うち、減価償却費	39,309	40,245	△936	—	
営業外収益	6,296	6,771	△474	—	
うち、受取利息 及び配当金(A)	1,436	1,302	+134	—	
営業外費用	12,136	13,803	△1,667	—	
うち、支払利息(B)	10,726	12,543	△1,816	—	
うち、金融収支(A-B)	△9,289	△11,241	+1,951	—	
経常利益	78,081	75,263	+2,817	+3.7%	
特別利益	4,578	9,754	△5,175	—	固定資産売却益 △8,348 投資有価証券売却益 +2,786
特別損失	8,067	5,075	+2,992	—	投資有価証券売却損 +4,853
四半期純利益	47,973	50,313	△2,340	△4.7%	

セグメント別営業成績(サマリー)

(単位：百万円)

	都市交通	不動産	エンタテインメント・コミュニケーション	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益									
2014年度3Q累計	174,206	165,284	84,280	25,737	28,837	47,451	24,205	△27,499	522,501
2013年度3Q累計	174,400	159,657	81,371	25,792	27,783	48,466	19,895	△26,740	510,626
比較増減	△194	+5,627	+2,908	△55	+1,053	△1,015	+4,309	△759	+11,874
営業利益									
2014年度3Q累計	30,913	35,046	14,237	2,452	2,059	1,116	235	△2,140	83,920
2013年度3Q累計	31,626	34,648	13,646	1,799	1,524	1,280	99	△2,329	82,296
比較増減	△712	+397	+590	+652	+535	△164	+135	+189	+1,624

不動産事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったほか、エンタテインメント・コミュニケーション事業においてスポーツ事業やステージ事業が好調に推移したこと等により、連結全体で増収・増益となった。

都市交通セグメント

(単位：百万円)

	2014年度3Q累計	2013年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	174,206	174,400	△194	△0.1%
営業利益	30,913	31,626	△712	△2.3%

前年度末に消費税率引上げに伴う駆け込み需要が発生した影響等があったものの、阪急線・阪神線が堅調に推移したことから、営業収益は前年同期並み。一方、利益面では、鉄道事業において動力費が増加したこと等により減益

不動産セグメント

(単位：百万円)

	2014年度3Q累計	2013年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	165,284	159,657	+5,627	+3.5%
営業利益	35,046	34,648	+397	+1.1%

マンション分譲戸数が増加(+215戸：前年同期1,063戸→当期1,278戸※)したこと等により、増収・増益

※当社グループの持分戸数

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収入				人員			
	2014年度3Q累計 百万円	2013年度3Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2014年度3Q累計 千人	2013年度3Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	45,713	46,107	△394	△0.9	231,835	234,534	△2,698	△1.2
定期	23,846	23,412	+434	+1.9	243,580	238,680	+4,899	+2.1
うち通勤	20,358	19,910	+447	+2.2	166,943	162,211	+4,731	+2.9
うち通学	3,487	3,501	△13	△0.4	76,636	76,468	+167	+0.2
合計	69,559	69,519	+40	+0.1	475,416	473,215	+2,201	+0.5

消費税率引上げ影響 約△5億円

《阪神電気鉄道》

	収入				人員			
	2014年度3Q累計 百万円	2013年度3Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2014年度3Q累計 千人	2013年度3Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	15,335	15,327	+8	+0.1	84,401	84,737	△336	△0.4
定期	8,390	8,235	+155	+1.9	87,630	85,573	+2,056	+2.4
うち通勤	7,487	7,330	+156	+2.1	68,791	66,935	+1,856	+2.8
うち通学	903	904	△0	△0.1	18,838	18,638	+199	+1.1
合計	23,726	23,562	+163	+0.7	172,031	170,311	+1,719	+1.0

消費税率引上げ影響 約△2億円

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。

エンタテインメント・コミュニケーションセグメント

(単位：百万円)

	2014年度3Q累計	2013年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	84,280	81,371	+2,908	+3.6%
営業利益	14,237	13,646	+590	+4.3%

出版事業再編影響
営業収益 約△11億円

出版事業の再編を実施した影響があったものの、阪神タイガースが日本シリーズに進出したことに加え、宝塚歌劇において宙組公演「ベルサイユのばら-オスカル編-」、花組公演「エリザベート-愛と死の輪舞(ロンド)-」が好評を博したこと等により、増収・増益

旅行セグメント

(単位：百万円)

	2014年度3Q累計	2013年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	25,737	25,792	△55	△0.2%
営業利益	2,452	1,799	+652	+36.3%

海外旅行においてはカナダ方面等の集客が好調に推移したものの、国内旅行において、前年同期に伊勢神宮・出雲大社の遷宮などに伴う集客増があった影響等により、営業収益は前年同期並み。一方、利益面では、コストの抑制に努めたこと等により増益

国際輸送セグメント

(単位：百万円)

	2014年度3Q累計	2013年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	28,837	27,783	+1,053	+3.8%
営業利益	2,059	1,524	+535	+35.1%

米国・アセアン・中国を中心とした貨物需要の緩やかな回復を受け、増収・増益

ホテルセグメント

(単位：百万円)

	2014年度3Q累計	2013年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	47,451	48,466	△1,015	△2.1%
営業利益	1,116	1,280	△164	△12.8%

外国人宿泊客が増加したこと等により、宿泊部門が堅調に推移したものの、前年度に製菓・販売の直営事業から撤退したことによる減収に加え、レストラン部門や婚礼宴会が低調に推移したこと等により、減収・減益

製菓・販売の直営事業撤退影響
営業収益 約△5億円

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目		2014年度3Q末	2013年度末	比較増減	備考
資産の部	流動資産	241,877	270,919	△29,041	受取手形及び売掛金 △19,210 など
	固定資産	2,002,387	2,016,009	△13,621	投資有価証券 △7,275 など
	資産合計	2,244,264	2,286,928	△42,663	
負債の部	流動負債	476,154	564,220	△88,065	
	固定負債	1,105,971	1,105,109	+861	
	負債合計	1,582,126	1,669,330	△87,203	
純資産の部	株主資本	628,431	588,969	+39,462	四半期純利益47,973－支払配当8,229 など
	その他の包括利益累計額	17,189	13,081	+4,107	
	新株予約権	318	208	+109	
	少数株主持分	16,198	15,338	+860	
	純資産合計	662,138	617,598	+44,540	

	2014年度3Q末	2013年度末	比較増減
借入金	841,271	898,605	△57,333
社債	112,000	122,000	△10,000
リース債務	10,713	11,702	△988
連結有利子負債	963,985	1,032,307	△68,322

営業キャッシュ・フローを有利子負債の返済に充当したことによる減少 など

	年間配当金		
	中間配当	期末配当	合計
2014年度	3.0 円	3.0 円 (予想)	6.0 円 (予想)
2013年度	2.5 円	3.5 円	6.0 円